

仁愛女子短期大学

平成18年度第三者評価
機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

仁愛女子短期大学の概要

設置者	学校法人 仁愛学園
理事長	禿 了修
学 長	禿 正宣
A L O	大西 新吾
開設年月日	昭和40年4月1日
所在地	福井県福井市天池町43-1-1

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
生活科学学科	生活環境	40
生活科学学科	生活情報	90
生活科学学科	食物栄養	50
生活科学学科	調理科学	35
幼児教育学科		150
音楽学科		30
	合計	395

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

専攻	入学定員
食物栄養専攻	10
音楽専攻	10
	合計 20

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

仁愛女子短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成17年7月5日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

設立以降、建学の精神・教育理念が貫かれている。教育目的・目標も含め単なる標語にとどまることなく、教育に息づく実効あるものになるよう活字化し、広く配布しており、講義、毎年の点検・改善、ガイダンス、各種行事への盛込みなど、その啓発に実によく努力・工夫がなされている。

教養教育、専門教育ともに教育課程の量的な規模や質的な水準は充分であり、多様な資格取得への配慮もうかがえる。総じて、個々の学生のニーズに応じた工夫が充分にとられている。

専任教員数は、短期大学設置基準に対応した教員数を確保しており、教員を補助すべき助手などの人的整備もはかられている。クラスアドバイザー制を設けて、きめ細かい教育指導体制がとられている。校地面積・校舎面積も短期大学設置基準以上を確保しており、図書館、教室および施設設備なども教育機能を果たすだけの整備がなされている。

在学生への学習・生活上の支援と指導は、クラスアドバイザーを中心にきめ細かく実施され、その結果、退学・休学者も少ない。就職状況も良好であり、就職先からの評価を真摯に受け止め改善にいかしている。具体的な教育目標の達成に努め、かつ学生の質的向上のために短期大学全体で取り組んでいる。

適切な情報提供、公正な入学者選抜、学生生活や進学、就職の支援体制は整備され、またクラスアドバイザーが学習支援に当たりきめ細かい履修指導を行い、サークルの高い加入率にみるように学生のキャンパス内外での生活に対しても支援体制が整備され、実績があがっている。高い就職率は当該地域における人材養成機関としての役割を充分に果している。

教員の研究活動はおおむね展開されている。

社会的活動への取組み状況やその促進に関しては、建学の精神を实践すべく各学科に研究センターを設置し、積極的な活動を展開しており、成果をあげている。

各種法令、寄附行為そのほかの規程を遵守し、理事会、評議員会、教授会などの運営が整齊と行われている。また、理事会と教職員、教員と事務職員との連携も図られている。

広い敷地に十分な設備が用意され管理も行き届いている。予算の策定やその執行も手順通りに行われている。また、健全な財務体質が維持されている。

実効ある改革・改善に向けて、全教職員が総力結集できるように、全学体制の充実強化への工夫・努力がなされている。

2. 優れていると判断される事項など

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

啓発、共有のための丁寧かつ積極的・継続的な組織的実践がなされている。

評価領域 教育の実施体制

クラスアドバイザー制を設けて、一貫した教育指導を行っている。

評価領域 学生支援

冊子「充実した学生生活を送るために 自己目標の設定と自己評価の手引き」を10数年前より発行している。自己目標を設定し、その評価を学生指導の資料として活用している。

評価領域 社会的活動

各学科に研究センターを設置し、積極的に地域に働きかけ、かつ実践している。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 研究

研究業績面で、教員間に差がみられる。特に、若手教員の活性化が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

設立以降、建学の精神・教育理念が貫かれている。教育目的・目標も含め単なる標語にとどまることなく、教育に息づく実効あるものになるよう活字化し、広く配布しており、講義、毎年の点検・改善、ガイダンス、各種行事への盛り込みなど、その啓発に実によく努力・工夫がなされ高く評価できる。

教育目的ならびにそれを達成するために、具体的な努力目標が設置3学科ごとに、教育計画に明記されている。また、毎年の教育計画は学科・専攻会議、教授会などで検討・審議され常に点検・改善に取り組んでいる。

教職員に対しては毎年度の教育計画策定の検討・審議の過程において理解・共有化がはかられている。その審議結果は理事会に確実に報告されている。また、学生に対しても学期ごとのガイダンス、月1回のアッセンブリーアワー、ミーティングアワーなどを活用し周知徹底を図っている。

評価領域 教育の内容

各学科の専門教育は、教育目標の達成に向けて編成されている。それぞれ独自の学科の専門性を具体化したカリキュラムとなっており、教育内容も短期大学教育として十分な内容を具備している。また、各学科とも教育課程の課題や問題点を的確に把握している。教養教育もその量と質において適切であり、建学の精神に基づく科目とともに、「教養基礎演習」など学生の実態や社会的ニーズに即した科目が開設されている。

全体として必修・選択のバランスも適切であり、授業形態に応じた受講者数の適正化も

はかられている。また、各学科の専門教育の特色と専門性に応じた資格の取得が可能である。卒業研究の成果の公表や発表、IT教育の充実、学生の社会的活動を導く科目など、時代の要請に対応した授業改善の工夫に鋭意努力している。

学生による授業評価は、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会が毎学期末に実施し、専任教員に評価結果をフィードバックし、研修会での授業研究活動など適切なFD活動に結びついている。非常勤講師とのコミュニケーションも緊密に行っている。

評価領域 教育の実施体制

専任教員数は、短期大学設置基準に対応した教員数を確保しており、教員を補助すべき助手などの人的整備もはかられている。クラスアドバイザー制を設けて、きめ細かい教育指導体制がとられている。校地面積・校舎面積も短期大学設置基準以上を確保しており、図書館、教室および施設設備なども教育機能を果たすだけの整備がなされている。校地面積は短期大学設置基準面積を大幅に超え、校舎面積も基準面積の2倍以上を有しており、その整備状況も充分といえる。IT環境の充実をはじめ、教室（実験・実習室を含む）も授業の展開に支障のない室数、設備を用意している。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

在学生への学習・生活上の支援と指導は、クラスアドバイザーを中心にきめ細かく実施され、その結果、退学・休学者も少ない。就職状況も良好であり、就職先からの評価を真摯に受け止め改善にいかしている。具体的な教育目標の達成に努め、かつ学生の質的向上のために短期大学全体で取り組んでいる。

採用先の企業などにも卒業生調査を実施しており、地域社会から信頼される人材を輩出している。特に「素直さ」、「真面目さ」という面に建学の精神とのつながりが見受けられ、地域社会から高い評価を得ている。また、卒業生の具体的な課題などが明確であり、その評価を教育改善にいかそうと努力している。

評価領域 学生支援

適切な情報提供、公正な入学者選抜、学生生活や進学、就職の支援体制は整備され、またクラスアドバイザーが学習支援に当たりきめ細かい履修指導を行い、サークルの高い加入率にみるように学生のキャンパス内外での生活に対しても支援体制が整備され、おおむね実績があがっている。高い就職率は当該地域における人材養成機関としての役割を十分に果している。

入学志願者には、要覧などのほかに「大学案内 じぶん、自信。」、「仁愛女子短期大学

で取得できる主な資格カタログ」で学生像などが充分明示され、また合格者に対しては「ウエルカムレター」や「入学生のみなさんへ」で入学までにしておく役立つことや入学後の学生生活などを丁寧に紹介し、その支援は充分に行われている。

専門スタッフからなる就職指導課や、教員と事務職員からなる就職対策委員会、ライセンス支援委員会を設置して様々な資料などとともに活動を支援している。過去3ヶ年とも就職率は高く、当該地域における養成機関としての役割を充分に果している。

評価領域 研究

研究設備などの状況や研究紀要の発行など研究条件が整備されている。

当該短期大学全体としての研究活動が展開されている。

評価領域 社会的活動

各学科に研究センターを設け、学科の特性に応じた公開講座、講師派遣講座、各種研究会などを展開している。特に、幼児教育研究センターでは長年にわたって地域社会に向けた機関紙を発行している。

専攻学科に応じて、障害者施設、保育所、幼稚園などの行事へ参加している。また、全学的規模で短期大学周辺におけるごみ拾いを行うなど、社会的活動の促進に寄与している。

評価領域 管理運営

理事会、評議員会とも適切に開催されている。必要な事項は付議・審議されており、関係法令、寄附行為に沿った運営がなされている。監事も新しい基準で機能している。

事務組織は合理的に組織化されており、組織規程や事務分掌規程も整備されている。

教員と職員の連携は良好に保たれており、人事管理は適切である。定例的に「学長と語る会」が職員との間でもたれ、教学方針が事務職員に徹底されている。

評価領域 財務

予算の策定およびその周知は、理事長の方針とその管理下で行われており、予算の執行も決められた手順どおり適正に行われている。

施設・設備は良く整備され、校地も快適な環境が保たれている。各学科に必要な特別施設も充分に用意され、活用されている。

評価領域 改革・改善

短期大学の使命、教育目的・目標の達成のため、実効ある改革・改善に向けて、一部の関係教職員にとどまることなく全教職員が総力結集できるように、全学体制の充実強化への工夫・努力がなされている。また、評価結果を実際に活用し反映させることに留意し、具体的に実践している。

自己点検・評価活動を短期大学運営において非常に重要なものと位置づけ、実施組織を編成している。また平成17年度より「仁愛女子短期大学教育計画」を策定し毎年度末に全教職員参加で点検評価をするなど、多くの教職員が関与するよう全学体制の充実に向けて努力している。